

平成27年度

こと はじめ

予算 事 始

さがみはらの予算をわかりやすく解説します



contents

- P2** 予算の基礎知識
 - ・予算って何？
 - ・予算ってどうやって決めるの？
 - ・骨格予算と肉付け予算って何？
- P4** 歳入(1年間の市の収入)
- P6** 歳出(1年間の市の支出)
- P8** 平成27年度の主な取り組み
- P10** 相模原市財政状況
- P12** 健全財政に向けた主な取り組み
- P13** 宝くじ情報と寄附金制度のご案内
- P14** 相模原家の家計簿

相模原市
マスコットキャラクター
さがみん

予算の 基礎知識



それではまずはじめに、
基本的な疑問にお答えしましょう。
予算とはどういうものなのでしょう？

予算って何!?

まずはじめに「予算」についてです。

市役所では福祉、教育、ごみ処理、消防、道路の整備など、様々な仕事をしていますが、どんな仕事にお金を使うのかあらかじめ決めておく必要があります。そこで、1年間に市役所に入ってくる収入を見積もり、収入の範囲内でその使いみち(支出)を計画したものが予算になります。

予算(収入と支出の計画)

収入(歳入)

・市税
・使用料
・国庫補助金
など

支出(歳出)

・福祉
・教育
・消防
など

予算ってどうやって決めるの？

皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、そして、そのためにどのくらいのお金が必要なのかなどを検討し、予算の案を作成します。

できあがった予算案は、皆さんが選挙で選んだ市議会議員で構成される市議会に提出され、内容の審査を経た後に、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。

4月1日から翌年の3月31日までの1年間に必要とされる予算は、「当初予算」として、年度が始まる直前の3月定例会議で決まります。しかし、年度の途中で、状況の変化や新しい事態が発生した場合には、変化に対応するため「当初予算」に変更を加える必要があります。これが「補正予算」です。

「補正予算」は必要に応じて何度でも編成することができますが、「当初予算」と同じように、市議会に提出され、市議会の議決を受けてはじめて、予算が決まります。

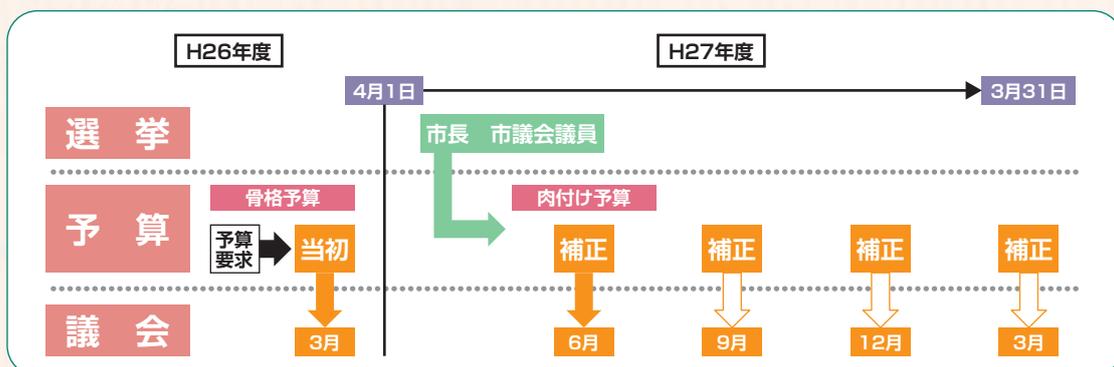
たとえば家庭では・・・



骨格予算と肉付け予算って何？

平成27年度当初予算は、4月に市長選挙と市議会議員選挙が行われたため、経常的な経費や継続的な事業に係る経費、社会情勢の急激な変化や市民生活に直接関わる喫緊の課題に対応するために必要な経費などを計上する「骨格予算」を編成しました。

なお、政策的経費や新規事業費等はあらためて、新しい市長と市議会のもとで、補正予算として盛り込むこととしています。この補正予算を「肉付け予算」といいます。



相模原市の予算はどのくらい？

市では、福祉、教育、道路・公園の整備などの行政サービスにかかるお金を「一般会計」として管理しています。特定の収入(国民健康保険税、介護保険料、下水道使用料など)があるものについては、お金の出し入れを分かりやすくするため、お財布を分けて管理しています。

これらのお財布を「特別会計」または「公営企業会計」とよび、相模原市には、下記に示すように10の特別会計と1つの公営企業会計があります。

平成27年度
一般会計予算額 **2,555億円**



平成27年度特別会計予算額 **1,876億円**

- 国民健康保険事業
- 介護保険事業
- 母子父子寡婦福祉資金貸付事業
- 後期高齢者医療事業
- 麻溝台・新磯野第一整備地区土地区画整理事業
- 自動車駐車場事業
- 簡易水道事業
- 公共用地先行取得事業
- 財産区
- 公債管理

平成27年度公営企業会計予算額 **275億円**

- 下水道事業

※特別会計予算額は10の特別会計の合計額
※予算額は億円未満を四捨五入

平成27年度一般会計予算額と人口の比較(主な政令指定都市)

大阪市(約269万人)	1兆7,270億円
横浜市(約371万人)	1兆4,955億円
名古屋市(約228万人)	1兆 723億円
⋮	⋮
静岡市(約71万人)	2,825億円
相模原市(約72万人)	2,555億円
北九州市(約96万人)※	1,754億円

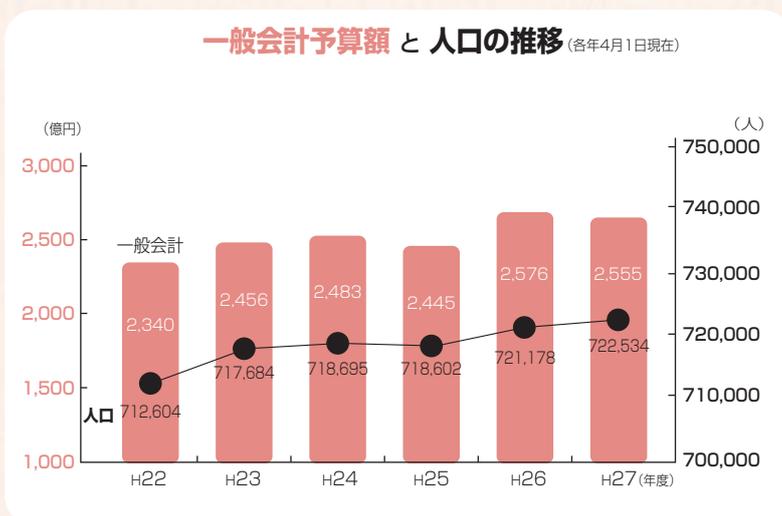
政令指定都市(20都市)の中では、19番目の予算規模です。
※人口は万人未満、予算額は億円未満を四捨五入。
※人口は27年1月1日現在推計人口。

※予算編成時期に市長選挙が行われたことから、4月から6月までの暫定予算です。

右のグラフは、過去5年間の一般会計予算額と人口の推移です。

一般会計の予算額も人口も増加傾向にあります。

平成27年度は、骨格予算であることや大規模な事業が完了に近づいたことにより、前年度から0.8%の減となっています。



市税の内訳

市税は収入全体の約44%となっています。
主な内訳は次のとおりです。

市民税…県民税と合わせて住民税といわれる税

個人市民税…個人の前年の所得にかかる税

法人市民税…市内に事業所等がある法人にかかる税

固定資産税…土地・家屋・償却資産（事業用の機械等）にかかる税

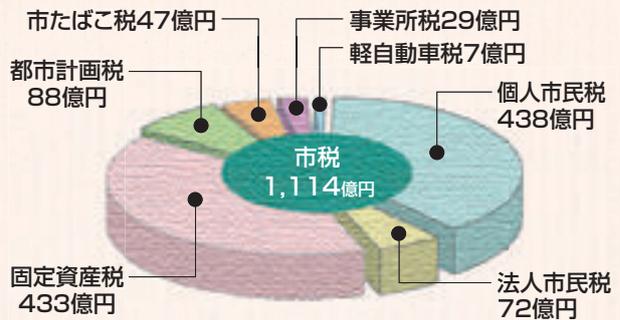
都市計画税…市街化区域内の土地・家屋にかかる税

市たばこ税…たばこ製造者等が市内の小売販売業者に売り渡したたばこにかかる税

事業所税…事業所等における事業活動にかかる税

軽自動車税…原付・オートバイ・軽自動車などにかかる税

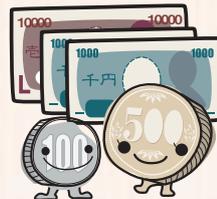
相模原市の市税収入の内訳は、「市民税」と「固定資産税」が多くを占めています。他の政令指定都市と比べると、歳入のうち市税の占める割合が高く、市税の中では景気の影響を受けやすい「法人市民税」の割合が低いことから、比較的変動の少ない歳入構造となっています。



市税収入の推移



市民一人あたりでは
約15万4千円です
平成26年度
約15万6千円



※平成18～25年度は決算額、26・27年度は当初予算額で示しています。※市民一人あたりは、各年4月1日現在の推計人口から算出しています。

相模原市の歳入でもっとも大きな割合を占める市税は、平成26年度に比べ11億円の減収となっています。主な税目では個人市民税は約3億円の減収、法人市民税は企業収益の伸びの鈍化や法人税割税率引下げの影響などにより約9億円の減収、固定資産税は約1億円の増収となる見込みです。

消費税率引上げの用途について

社会保障の充実・安定化のため、平成26年4月に消費税率が8%に引上げられました。消費税率の引上げに伴う地方消費税交付金の増収分として、27年度は前年度から33億円増の45億円を見込んでいます。

この消費税率引上げによる増収分は、全て年金・医療・介護・少子化対策等の社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費の中で、「社会保障の充実・安定化」のために活用されます。

社会保障の充実に含まれる主な事業

- 子ども・子育て支援新制度の実施
- 児童養護施設等における社会的養護の充実
- 国民健康保険の低所得者の保険税軽減制度の拡充 など

歳出

1年間の市の支出

歳出は、使いみちや目的によってさまざまな見方をすることができますが、ここでは『目的別』経費と『性質別』経費という2つの分類方法で説明します。

『目的別』経費とは…

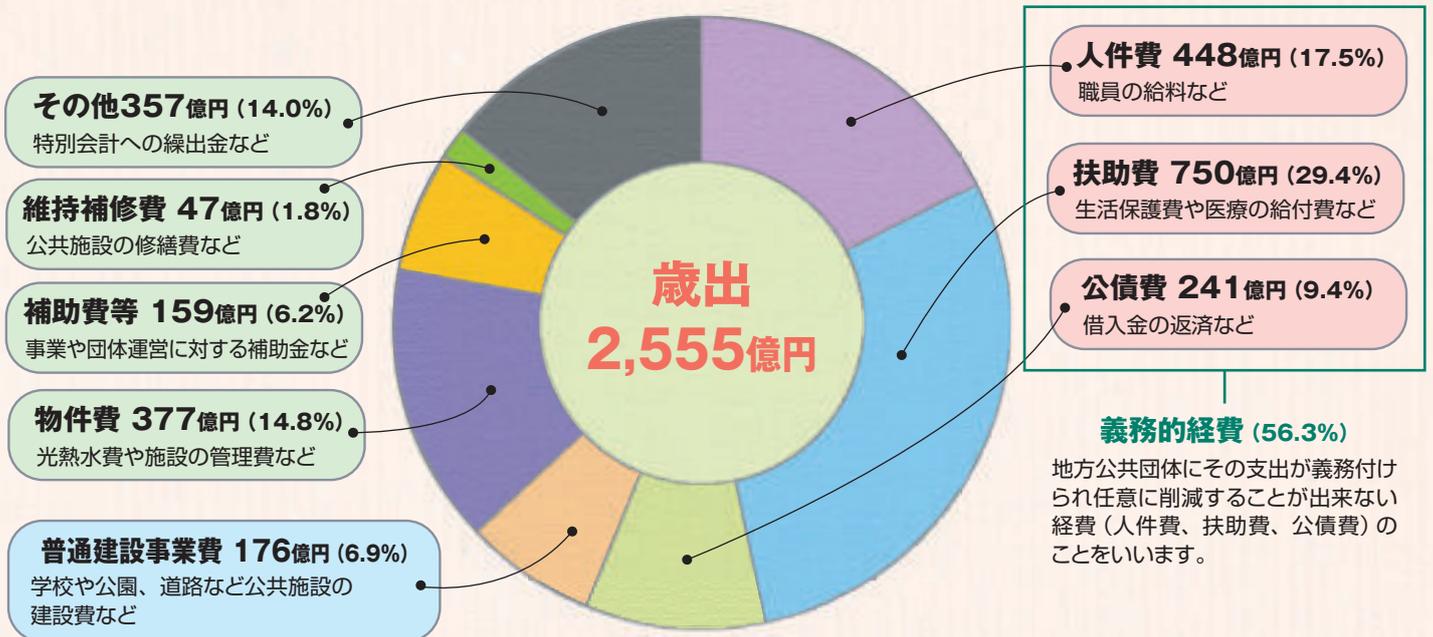
歳出をサービスの目的で分類したもので、「民生費」、「衛生費」、「教育費」などに分けられます。市民一人あたりの予算額は約35万円で、このうち「民生費」が約16万円となっており、全体の約45%を占めています。

目的別経費	当初予算額 (百万円)	一人あたりの 予算額(円)※	構成比 (%)
議会費 (議会運営などに要する経費)	1,075	1,488	0.4
総務費 (市役所の管理運営、広報、防災活動などに要する経費)	23,866	33,030	9.4
民生費 (子育て支援や高齢者・障害者福祉、医療などに要する経費)	113,553	157,160	44.5
衛生費 (健康づくりの推進、ごみ処理、環境保全などに要する経費)	21,800	30,172	8.5
労働費 (勤労者福祉対策などに要する経費)	757	1,048	0.3
農林水産業費 (農業振興や林道の整備などに要する経費)	865	1,198	0.3
商工費 (商工業や観光の振興などに要する経費)	13,605	18,830	5.3
土木費 (道路、下水、公園、河川などに要する経費)	26,067	36,077	10.2
消防費 (消防や救急活動などに要する経費)	7,419	10,268	2.9
教育費 (学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに要する経費)	21,714	30,053	8.5
公債費 (借金の返済などに要する経費)	24,168	33,448	9.5
その他	611	845	0.2
合 計	255,500	353,617	100

※一人あたりの予算額(円)は、平成27年4月1日現在の推計人口から算出しています。

『性質別』経費とは…

歳出を経費の性質に着目して分類したもので、「人件費（人にかかる経費）」「普通建設事業費（建物など将来への投資となる経費）」などに分けられます。



性質別経費の比較

※単位は億円。()内は歳出合計に占める構成比。
※平成23～25年度は決算額、26・27年度は当初予算額で示しています。



性質別経費について、平成23年度と比べると、歳出全体では約80億円大きくなっておりませんが、扶助費は約140億円も増加している一方、普通建設事業費は約203億円減少しています。

なお、平成26年度と比べ、普通建設事業が大幅に減少しているのは、圏央道と周辺の道路などの大規模な道路整備事業や清掃工場の整備事業が完了に近づくこと等によるものです。

平成27年度の 主な取り組み

平成27年度の当初予算は、骨格予算として編成を行ったものですが、防災・福祉・子育てなど市民サービスの充実、本市の将来の発展につながる取り組みに重点を置いた予算編成を行いました。

基本目標Ⅰ 誰もが安全でいきいきと暮らせる安心・福祉都市

● 地域福祉の推進 9億5,571万円

- 地域福祉活動の推進
- 生活困窮者の自立に向けた支援



● 高齢者を支える地域ケア体制の推進

- 特別養護老人ホームの整備促進

11億2,273万円

● 障害福祉の充実 2億2,853万円

● 地域医療、保健衛生体制の充実

- 看護職員の確保対策
- 衛生検査機能の強化

8,043万円

● 子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備・充実

163億3,175万円

- 保育所待機児童対策の推進
- 子ども・子育て支援の充実
- 子どもの放課後の居場所づくりに向けた取組
- 小児医療費助成事業の拡充
- 子どもの権利保障の推進



● 市民生活の安全・安心の確保

5,164万円

- 防犯灯LED化の推進
- 落書き防止対策の推進
- 消防署の整備



基本目標Ⅱ 学びあい 人と地域をはぐくむ教育・文化都市

● 学校教育・教育環境の充実

- 児童支援体制の強化
- 市立小・中学校の施設整備
- 通学路における児童の交通安全確保

16億4,650万円

● 文化活動の推進 4,740万円

● 生涯学習・生涯スポーツの振興

- まちづくりセンター・公民館の整備
- 博物館による宇宙教育普及事業の推進
- スポーツの振興
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組

9億6,031万円



基本目標Ⅲ やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市

● 地球温暖化対策の推進 5,546万円

- 水素エネルギーの普及促進

● 恵み豊かな自然環境の保全・育成

- 生物多様性の保全
- 森林環境の保全と林業の育成



1,005万円

● 廃棄物の適正な処理の推進

2億8,777万円



● 公園や広場の整備

4億3,619万円

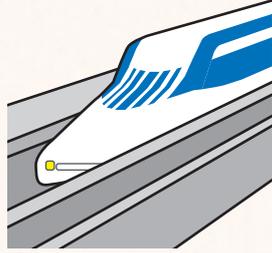


基本目標Ⅳ 活力にあふれ多様な交流が生まれる広域交流拠点都市

● 魅力あふれる質の高い都市の形成

10億145万円

- リニアまちづくりの推進
- 相模原駅周辺まちづくりの推進
- JR横浜線連続立体交差化に向けた取組
- 相模大野駅周辺地区の整備促進
- 新たな都市づくりの拠点形成



● 交通ネットワークの充実

- 小田急多摩線の延伸に向けた取組
- 道路環境の充実

31億3,984万円

● 市営住宅の整備

22億4,582万円

● 基地対策

1,281万円

基本目標Ⅴ 市民とともに創る自立分権都市

● 個性豊かな地域コミュニティの形成

5億9,745万円

- 区制を生かしたまちづくりの推進
- 地域活動・市民活動の促進
- 市民協働の推進



● 行政サービスの質の向上

2億791万円

- 業務改革の推進、市民ニーズや社会環境の変化への柔軟な対応



防災・減災対策の推進

● さがみはら防災・減災プログラム事業

26億9,926万円

- 地域防災力の向上
- 災害対応体制の強化



● 都市防災力向上に向けた取組

84億209万円

- 防災対策の推進
- インフラの安全対策



● 地域経済と雇用を支える産業の振興

126億2,364万円

- 地域産業の振興
- 中小企業の育成・支援
- 企業誘致の促進
- 雇用対策の推進
- 地域商業・サービス業の振興
- 都市農業の振興
- 魅力ある観光の振興



相模原市財政状況

相模原市の財政の現状や課題について説明します。

Q.市の財政状況は?

健全化判断比率

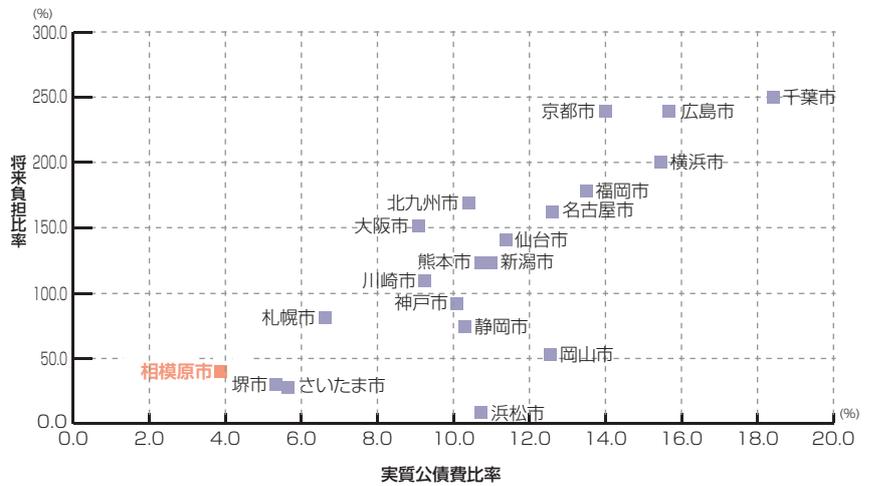
健全化判断比率のうち将来負担比率は、借金や買取りを約束している土地代など既に将来支払うことが決まっている金額などを含めた事実上の総負債額が1年間の収入総額に対しどのくらいの割合かを示したもので、数字が小さいほど、将来の負担が少ないということです。国の基準で一定以上（将来負担比率が400%以上）になった場合は借金削減の計画をたてなければなりません。

実質公債費比率は、収入に対する公債費（借金の返済費用）の占める割合で、数字が小さいほど、借金が少ないということで、一定基準（25%以上）を上回ると市債の発行が制限されます。

相模原市は、政令指定都市の中で、実質公債費比率3.9%は最小、将来負担比率39.8%は4番目に小さく、健全財政を維持しているといえます。



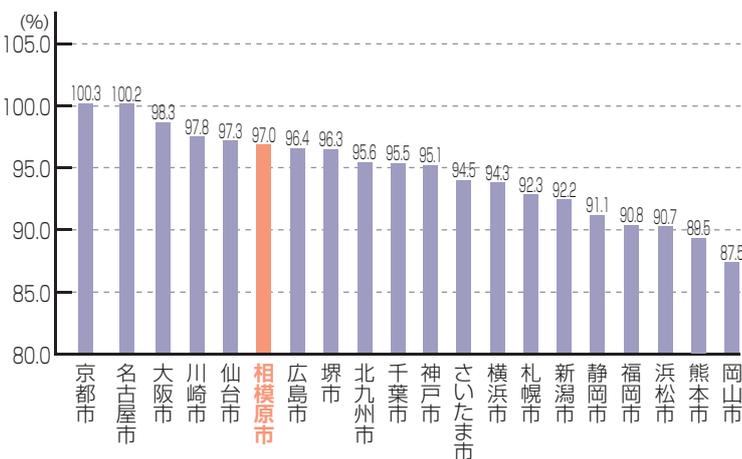
将来負担比率と実質公債費比率との比較（平成25年度決算）



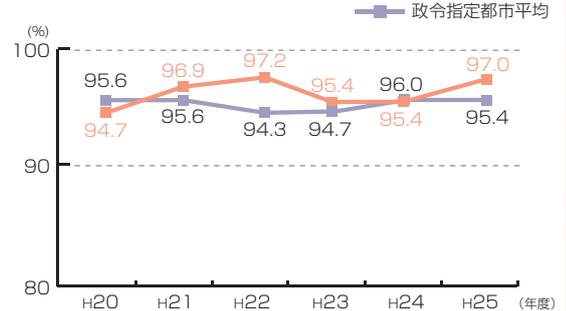
経常収支比率

経常収支比率は、市税など常に見込める収入と、公債費など常に支払う必要がある支出を比べたもので、この割合が低ければ、それだけ新しい仕事にお金を振り向けることができます。

経常収支比率の比較（平成25年度決算）



経常収支比率の推移



相模原市は、平成25年度は政令指定都市の中でも比率が高く、近年の傾向としては「財政の硬直化」が進んでいるといえます。こうしたことから、経常収支比率を改善させるため、将来発生する公債費の抑制や、市税などの収入未済の削減に取り組み、自主財源の確保に力を入れています。

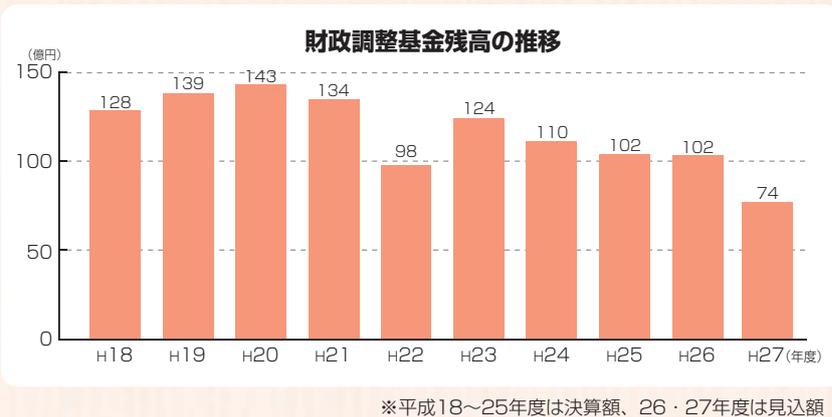
Q.市の貯金や借金はどうなっているの？

財政調整基金 (市の貯金)

急にお金が必要になったり、収入が落ち込んだりしたときに対応できるように、市でも貯金をしています。これを財政調整基金と呼んでいます。

相模原市では、前年度に支出を切りつめて余裕が出たお金の半分以上を積み立てることをルールとして、積み立てを行っています。

平成21年度以降は平成23年度を除き取崩額が積立額を上回り減少傾向にありますので、今後も効率的で無駄のない予算執行を行うことで取崩額を削減することに努めていきます。

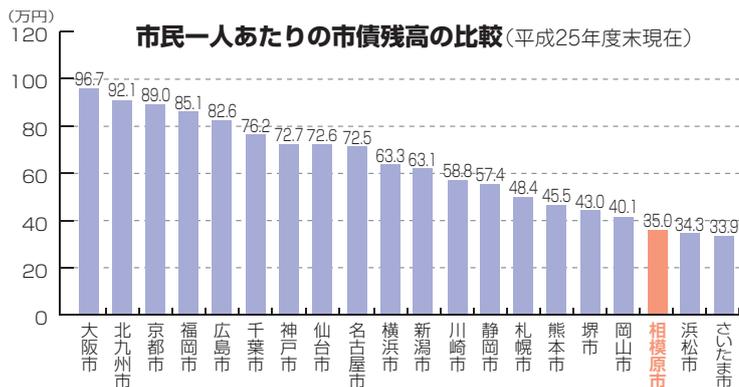
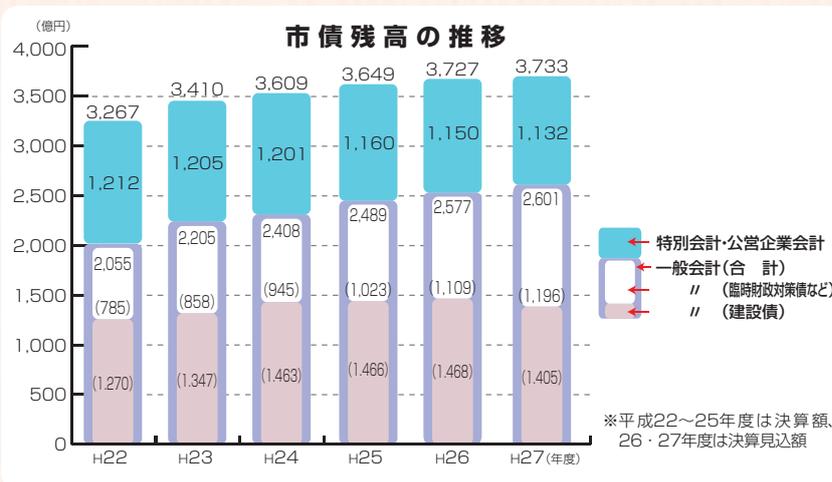


市債 (市の借金)

市債は借金ですから、無いほうが良いと考えるのがあたりまえです。でも、公園や道路などの整備に必要なお金を1年間の予算でまかなってしまったら、その年は他の仕事が出来なくなってしまいます。それに公園や道路はこれから長い間、たくさんの方が利用する施設ですから、将来

の市民の方にも平等に費用を負担していただくことも、市債を発行する理由の1つです。

また、国の財源不足で本来地方交付税として配られるお金が不足した分を、市が代わりに借金をしてまかっています。この借金を臨時財政対策債といい、近年市債残高が増加している大きな要因となっています。臨時財政対策債の返済金については、後年度の地方交付税額の算定に全額が反映されることになっています。



市民一人あたりの市債の残高を他の政令指定都市と比較すると相模原市が3番目に低くなっています。

ただし、市債残高は年々増加していますので、今後も健全財政を維持するため、借入額に関する自主的なルールを作り、適切な市債発行に努めています。

※市民一人あたりの市債残高の比較については、他の団体との比較のため、普通会計決算の数値から作成しています。

健全財政に向けた 主な取り組み

相模原市では現在の健全な財政を
将来にわたり維持するため、
いろいろな取り組みを進めています。

相模原市は、現時点では財政的に健全といえる状態ですが、市債残高や財政調整基金の状況を見ると、将来への課題がないわけではありません。

そこで、将来にわたっても引き続き健全な財政を維持するために、市ではさまざまな取り組みを進めています。



行財政改革の断行

市民と行政が一体となって継続的・計画的に都市経営に取り組むため、平成17年度にさがみはら都市経営ビジョンを策定するとともに、具体的な取組を定めたアクションプランを策定し、行財政改革に取り組みました。

また、平成25年度からはさがみはら都市経営指針及び実行計画を策定し、継続的に行財政改革に取り組んでいます。

市債発行の上限設定 (借入できる上限額の自主規制)

市の借金には、実質公債費比率や将来負担比率などの国の基準でいろいろな規制がありますが、いずれも返済額や残高に関するもので、借入額を直接規制するものではありません。そこで相模原市では借入額に関する自主的なルールを作って健全財政の維持に努めています。

年度	目標	実績	達成状況
平成17～21年度	借入総額 800億円以内	798億円	達成
平成22年度	借入限度額 320億円 実質公債費比率 8%以下	278億円 4.3%	達成
平成23～25年度	3年間の市債発行額 1,000億円以内 実質公債費比率 8%以下	993億円 3.9%	達成
平成26～28年度	3年間の市債発行額 950億円以内 実質公債費比率 8%以下		

収入未済額の削減に向けた取り組み

市では、納期限を経過しても納付されない債権について、市民の負担の公平性と自主財源の確保を目的とした「相模原市債権回収対策基本方針」及びこの方針により策定した「平成27年度債権回収対策等実行計画」に基づき、財産の差押、公売の実施などに重点的に取り組んでいます。

「宝くじ」って実はすごい!!

宝くじ
情報

Q. 宝くじってどこで買っても同じ?

- A. 宝くじが当たる確率は、どの売場で買っても同じだよ。でも、相模原市内で売れた宝くじの収益金は、相模原市に配分され、身近な市内の事業に役立てられているんだ。
だから、みんなが**市内で宝くじを買って**くれると、相模原市の収益金も増えるから、**みんないいことづくめなんだ!**



市内で買えば、
市民のために
役立てられるんだ!!

平成26年度の
年末ジャンボ宝くじで、
1等及び前後賞(総額7億円)が
市内の売り場から
でているんだよー。



宝くじは相模原市内で買ってくださいね。

寄附で、あなたも**市政に参加**してみませんか! 「暮らし潤いさがみはら寄附金」制度のご案内

- ポイント1** 寄附金は、あなたが**指定した事業に活用されます!**
市の事業のうち幅広いメニューから使い道を選択いただけます。
使い道を指定しない「一般コース」も選択できます。
- ポイント2** しかも、2,000円を超える部分は税金が差引かれます!(上限額があります)
つまり、税金の使い道を指定するのと同様の効果があります。
- ポイント3** 「ふるさと納税ワンストップ特例制度」が創設されました。
ふるさと納税による税の軽減を受けるためには確定申告を行っていただくことが必要ですが、給与所得者等が寄附を行う場合に、寄附先団体が5団体以内の場合であって、確定申告を行わない場合に限り、寄附を行う際に、各寄附先団体に特例の適用に関する申請書を提出することで、確定申告を行わなくても、寄附金控除を受けられる特例的な仕組みが創設されました。
- ポイント4** クレジットカードによる寄附が可能になりました!!
「Yahoo! JAPAN 公金支払い」から手続きが可能です。

【平成26年度 暮らし潤いさがみはら寄附金の実績】

寄附件数	寄附金合計
76件	13,102,021円

多大なるご寄附ありがとうございます。皆さまからお預かりした寄附金は、原則ご寄附いただいた年度の翌年度の予算の中で活用させていただきます。

詳しくは市ホームページ、パンフレットをご覧くださいか、市財務課まで。

相模原家の 家計簿

市の財政について、皆さんに身近に感じていただくために、市の予算を家計に例えてみます。相模原家の年収を500万円として、市の予算を当てはめてみると…

～相模原市の平成27年度予算を年収500万円の家計に例えと～



収入

給料	基本給 (市税)	218万円 (±0万円)
	諸手当 (地方交付税・国県支出金など)	173万円 (+14万円)
	貯金の取り崩し (基金繰入金)	14万円 (△1万円)
	家賃収入 (使用料・手数料など)	50万円 (△4万円)
	生活資金のローン (臨時財政対策債)	29万円 (±0万円)
	家の増改築のローン (その他市債)	16万円 (△9万円)
	合計	500万円

(カッコ内は前年度との比較)

支出

食費 (人件費)	88万円 (+4万円)
医療費 (扶助費)	147万円 (+10万円)
ローンの返済 (公債費)	47万円 (+1万円)
光熱水費・通信費・修繕費など (物件費など)	138万円 (△6万円)
家の増改築・電化製品の買替え費用 (普通建設事業費)	35万円 (△10万円)
子どもへの仕送り (他会計への繰出金)	45万円 (+1万円)
合計	500万円

(カッコ内は前年度との比較)

*このほか、ローンの残高は、509万円。
貯金は25万円になります。

収入については、給料や家賃収入だけでは依然として生活に十分な額に満たないため、貯金の取崩しなどでしのいでいます。また、家の増改築や生活資金のローンを借っています。支出では、家族の食費や医療費などが増えているため、日々やりくりをしています。

こと はじめ

～『予算事始』の作成にあたって～

江戸時代の中期、「この本を翻訳することができれば、日本の学問を変えることができる」という高い理想と信念を持ち、オランダ語で書かれた解剖学の本の翻訳を、頼るべき辞書も無いまま手探りで取り組んだ初期の蘭学者(オランダ語で西洋の学問を学ぶ者)の苦勞が書かれている『蘭学事始』という書物をご存知でしょうか？

「予算」は、市民の皆さんに納めていただいている税金などがどのように使われるのかをまとめたもので、市民生活に密接に関わっています。また、「財政の健全化」とか「財政破たん」などという言葉もしばしば耳にされると思いますが、自分の暮らすまちの財政が健全に運営されているかどうかは、まさに、市民生活に大きな影響を及ぼす重要事項です。

一方、専門用語や仕組みの複雑さなどから、市民の皆さんに予算や財政の中身を分かりやすく説明することはなかなか難しいことですが、相模原市の予算や財政状況を分かりやすく解説し、関心を持っていただくことによって、相模原が変わっていく、そんな思いをこめてこのパンフレットを『予算事始』と名づけました。

『予算事始』を読んでいただいで、一人でも多くの皆さんに「予算が身近になった」「相模原市の財政に興味をもった」と感じていただければ幸いです。



相模原市の予算や財政に関する詳しい情報は市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/>

【トップページ】⇒【市政情報】⇒【市の財政】からアクセスしてください。

広告

広告内容に関するお問い合わせは各事業所へ(パンフレットの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください)。

相模原事務用品協同組合

相模原事務用品協同組合 代表理事
佐藤 幸彦

事務局 ▶

〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3(商工会館内)
TEL 042(750)2838 FAX 042(750)2855

URL:<http://www.e-jimu.jp> e-mail:kumiai@e-jimu.jp

(有)オオヌマ 042-778-4290

菊屋浦上商事(株) 042-754-9211

(有)橋南堂 042-772-2408

久米文具店 042-754-6560

昭文堂 042-762-1532

(株)敏正堂 042-685-1511

福文堂 042-784-0136

(株)文盛堂 042-752-2303

(株)宝月堂文具店 042-752-2083

(株)ミリオン事務機器 042-784-3856

(有)山本書店 042-784-0016

(株)洋文堂 042-730-3421

(有)渡邊文相堂 042-761-5518

(株)プロワーク 042-730-5251

お買い物は地元のお店で!!

一般社団法人

相模原市商店連合会

相模原市中央区中央3-12-3 ☎042-768-2451



SOIN

相模原市印刷広告協同組合

プロ集団
24社

印刷・広告受注、地域情報紙印刷配布、
市民まつりパンフレット・暮らしのガイド(ナイスガイドさがみはら)作成
街美化アダプト制度の活動、PTA・公民館広報誌講習会(年1回開催)等

相模原市印刷広告協同組合代表理事 長田 功

〒252-0239 相模原市中央区中央3-7-5 ☎042(776)6100 ☎042(776)5656 <http://www.soin.or.jp/>

新築・お子様の勉強部屋・リフォームのご相談は

D+STYLE

有限会社

トータルハウジング久野

神奈川県相模原市中央区水郷田名2丁目11番26号
TEL 042(762)0096 FAX 042(760)0078
<http://www.t-h-kuno.co.jp>



Bank of Yokohama

Afresh

あなたに、あたらしく。

お客さま一人ひとりに、
最もふさわしい金融サービスとの出会いを、
あたらしく創りあげていきます。

横浜銀行

八千代銀行

相模原法人営業部／淵野辺支店／相模原支店／南淵野辺支店
上溝支店／田名支店／千代田出張所／相模台支店／相模大野支店／大沼支店
東林間支店／古淵支店／橋本支店／二本松支店／城山支店



思いを預かる。思いをつなぐ。

東京TYフィナンシャルグループ